

64億9,900万円 令和7年度 能勢町一般会計予算を可決

予算常任委員会報告

予算常任委員会に付託された「令和7年度能勢町一般会計予算」について、3月11日、12日、13日、17日に委員会を開催し予算内容を審議しました。質疑の後、賛成多数で可決すべきものと決定しました。
主な質疑応答は次のとおりです。

◇令和7年度能勢町一般会計予算

賛 否										原案可決
平田 要	井上加奈子	難波希美子	長尾 義和	西河 巧	岡本ひとし	中西 顕治	中植 昭彦	奥 久明	太田 祐介	森田 則子
○	○	×	○	○	○	○	○	欠席	○	委員長

注:委員長は採決に加わりません。

総務部 (総務課・理財課・住民課)、出納室、議会事務局

問 職員研修事業について、人材育成はどのような方針で行われるか。また、管理職に向けた外部での研修は検討しているか。

答 能勢町人材育成基本方針を10年ぶりに改定し、「住民に信頼され、自ら課題解決に向けて積極的に行動できる職員」を理念とし、個々の適性や職階に応じた研修を行う。また、北摂7市3町で実施されている共同研修への参加を検討する。

問 ふるさと応援寄附金の予算規模が昨年度から半分に減っている。対策は考えているのか。ブランディングについて「寄附者も含む関係人口」とあるが新たなターゲットとは何をさすのか。

答 現状、専任の職員を配置することは難しい。また、機構改革での魅力創造課との関わり方も検討していきたい。関係人口については、地域の祭り、物産センター、町内の店舗や施設に繰り返し来る人を対象と考えている。

問 交通対策事業について、目標と実態に乖離があるがどのように対応していくのか。また、広報で自家用車との経済的な比較を示す必要があるのではないか。

答 1日の目標が25人、現状9.7人でかなり厳しいが、運行区域の拡大や、停留所を増やすことで利用者の増加に努めたい。これまでも継続的に情報発信を行ってきたが、自家用車を維持する場合との経済的な比較はできていないので今後検討する。

問 男女共同参画プラン策定事業について、計画にある女性の職域の拡大や積極的な登用が目標値に達していないこと、セクシャルハラスメントの啓発活動が取り組まれていないことについて問う。

答 女性の職域の拡大、積極的な登用については、特定事業主行動計画で目標値を定めており、女性役職者の割合の向上に努めていきたい。セクシャルハラスメントについては、職員研修のテーマとして意識の啓発に努めていく。

福祉部 (福祉課・健康づくり課)

問 保健福祉センターの改修工事の内容と業務への影響を問う。

答 屋根や外壁の改修と空調機の入替を予定している。窓口業務は開設したまま行うが、貸室の一時停止が見込まれる。工期は約半年間で12月に完了予定である。

問 放課後児童クラブ事業が17名の定員超えになっているがどのように対処するのか。

答 場所の確保、支援員の確保をして70人定員という条例を変更していけるよう、他部署と協議して進めていく。

問 「のせけん」報告会の内容を問う。

答 産学官連携事業「能勢町健康長寿研究」の5年間の研究成果の報告と著名人の講演などを来年3月頃に1日だけのイベントとして行う予定である。

問 健康づくり支援事業を行うために国民健康保険(国保)特別会計からの繰入や後期高齢者医療(後期)特別会計から受託収入を使う経緯を問う。

答 健康長寿のために続けていかねばならない事業と認識している。対象者の8割が国保・後期加入者であり、国保のヘルスアップ事業の交付金や後期の健康長寿事業受託金の活用は、住民課、理財課と協議した結果、今回の予算編成となった。